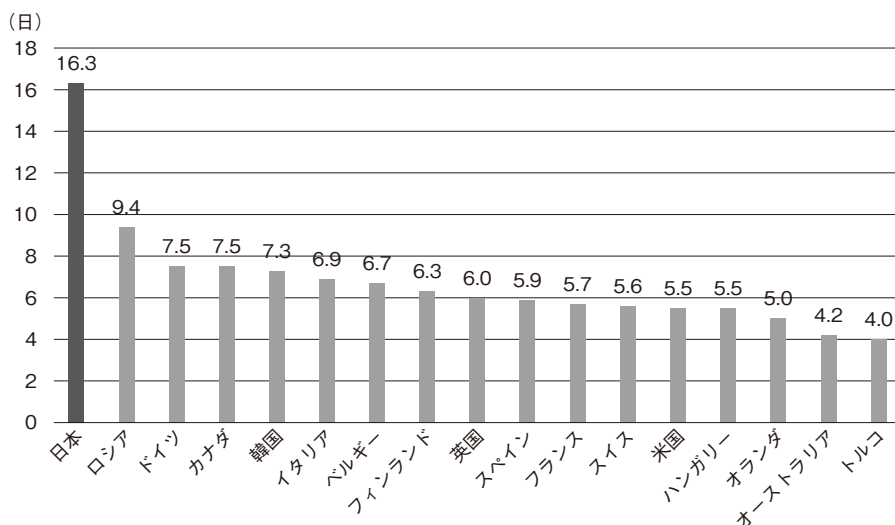


急性期の平均入院日数（2017 年もしくは直近年）



急性期の平均入院日数を OECD 加盟 33 カ国で調査したところ、日本は 16.3 日と最長であった（上のグラフはそのうち約半分の 17 カ国を表示）。日本の入院日数は 2000 年以降大幅に減少しているが、いまだに 2 位のロシア（9.4 日）以下を大きく引き離している。

OECD 「Health at a Glance 2017」を基に作成